

第10回 通常総会を開催



公益社団法人藤沢法人会の第10回通常総会並びに記念研修講演会が、6月8日(水)湘南鎌倉クリスタルホテルで、会員・来賓他118名出席のもと開催されました。

総会の前段で開催された研修講演会では、入内嶋晃事業研修委員長の司会で、経済ジャーナリストの須田慎一郎氏をお招きし、「2022年どうなる日本！今後の経済を読む」と題する講演を拝聴しました。

総会は、川又辰治総務委員長の司会で進行。大川信乃副会長の開会のことばに続き、司会より定足数を確認し、総会の成立を宣言しました。次に田中靖一副会長より来賓が紹介されました。

川上会長が挨拶で、インボイス制度の申請書提出に際し、期限間際の申請は混雑が予測されるので、余裕を持って申請いただくようお話しされました。また、法人会の事業について、コロナ禍により約2年、活動の自粛を余儀なくされたことに触れられ、令和4年度は各事業を従来通りに再開させますが、予断をもって実施していく旨を述べられました。

続いて令和3年度の会員増強優秀支部表彰が行われ、横山貢組織委員長より表彰内容と該当者を発表し、個人では、3件以上の4名に表彰状、福利厚生制度受託会社3社に感謝状が、会長より贈呈されました。(表彰状並びに感謝状贈呈者は3頁に掲載)

議案審議は、川上会長を議長に、第一号議案・令和3年度財務諸表報告及び監査報告に関する承認の件を上程し、澤邑重夫総務副委員長より報告後、杉田祐一監事より監査報告が行われ承認されました(正味財産増減計算書は4頁に掲載)。

次に報告事項として、令和3年度事業経過報告を田村進総務副委員長、令和4年度事業計画を倉知克則総務委員、令和4年度年度予算を川口重幸総務委員(正味財産増減予算書は5頁に掲載)、がそれぞれ報告を行いました。

以上で、議案審議並びに報告を終え、次に千葉雅英・藤沢税務署長、川崎理・東京地方税理士会藤沢支部長より祝辞を頂戴し、田邊勝利副会長の閉会のことばで終了しました。

また、総会終了後に行われた3年ぶりとなる懇談会では、山崎正三副会長の開会のことばの後、長嶋行光・藤沢酒類懇話会会長に乾杯のご発声を頂戴し、久しぶりの懇談会が盛大に行われ、相原厚志副会長の閉会のことばで終了しました。



令和3年度新入会員紹介の優秀表彰者名

〈順不同・敬称略〉
於・第10回通常総会

支部表彰

(年度間入会数から退会数を差し引いた数値が多い上位3支部を表彰)

- 1 藤沢北東支部
- 2 藤沢南支部
- 3 茅ヶ崎北東支部

個人表彰

☆年度間紹介社数☆(数字は紹介件数)

- 15 櫻井 淳 〈株湘南セールスプロモーション〉
- 4 吉田 禎輔 〈株T S K〉(A I G代理店)
- 3 宮前優美子 〈大同生命保険株湘南支社〉、尾崎 宏治 〈A I G損害保険株藤沢支店〉
- 2 田中 康俊 〈株湘南社〉
- 1 山崎 正三 〈株サンコーハウジング〉、川口 重幸 〈株W I N〉、伊藤 和司 〈株ユーコーテレコム〉、長谷川一夫 〈株長谷川土建〉、大石 憲子 〈株大石商店〉、中川 信義 〈株グローブ企画〉、杉本 剛昭 〈有湘南法務コンサルティング〉、斎間 孝 〈株サイマコーポレーション〉、加賀妻憲彦 〈株加賀妻工務店〉、鈴木 晴美 〈大同生命保険株湘南支社〉、近藤 由梨 〈大同生命保険株湘南支社〉、吉沢 伸一 〈大同生命保険株八王子営業所〉、杉本 幸生 〈A I G損害保険株横浜支店〉、浅尾 敬太 〈A I G損害保険株横浜代理店営業部〉、小山 希佳 〈A I G損害保険株厚木支店〉、中村 隆寛 〈株アクシアエース〉(A I G代理店)、原田 隆明 〈ベストスマイル〉(A I G代理店)、山本 晋矢 〈株key's〉(A I G代理店)、内田 朋彦 〈株ネクストコンサルティング〉(A I G代理店)

団体感謝状

大同生命保険株式会社湘南支社、A I G損害保険株式会社藤沢支店、アフラック生命保険株式会社湘南支社



全法連・県法連功労者表彰者名

〈敬称略〉

全法連功労者表彰受彰者

川又 辰治 〈増子電気工事株〉、倉知 克則 〈有クラチ工業〉

県法連功労者表彰受彰者

大石 憲子 〈株大石商店〉、川延 克己 〈有丸真運輸〉、富田 桂司 〈茅ヶ崎石材工業株〉、中野 雅之 〈株菊地土建〉

組織委員会からのお願い

新型コロナウイルス感染症により藤沢法人会の各種事業活動は制限され、入会勧奨も2年間はままならない状況となっておりますが、令和4年度の組織強化については年間入会数100社を目標に組織委員をはじめ各支部役員と共に巻き返しを図りたいと考えております。

会員増強はどの団体でも組織維持のため「常時勧奨」の命題を背負っておりますが、会員増強活動が取り巻く環境は年々厳しさを増しており、会員増強を図りながら「退会防止策」も講じる困難な状況に苦労しているのが現状でございます。

そこで力となるのは会員の皆様からの「ひと声紹介」でございます。本会や支部、部会での研修事業並びに親睦事業にご参加いただき新たな仲間を獲得する機会に法人会を是非ともご活用いただくとともに、新たな仲間をご紹介いただくと幸いです。

組織委員長 横山 貢

令和3年度 **正味財産増減計算書**

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備考
I. 一般正味財産増減の部				
i. 経常増減の部				
(i) 経常収益				
1. 特定資産運用益	8,874,050	8,715,358	158,692	
(1) 特定資産受取利息	30,000	24,258	5,742	利息
(2) 特定資産受取賃借料	8,844,050	8,691,100	152,950	会館テナント家賃等
2. 受取会費	37,433,500	36,672,300	761,200	
(1) 正会員受取会費	36,133,500	35,518,800	614,700	年会費
(2) 賛助会員受取会費	1,300,000	1,153,500	146,500	年会費
3. 事業収益	614,500	111,500	503,000	
(1) 研修会事業収益	304,500	21,500	283,000	研修会等負担金
(2) 募金収益	160,000	0	160,000	チャリティゴルフ大会収益
(3) 広告事業収益	150,000	90,000	60,000	機関誌の広告料
4. 受取補助金	19,348,800	19,242,171	106,629	
(1) 都道府県連補助金	1,730,200	1,727,571	2,629	
(2) 全法連助成金振替額	17,258,600	17,258,600	0	全法連による助成金
(3) 全法連補助金	360,000	256,000	104,000	
5. 雑収益	1,325,040	1,309,540	15,500	
(1) 受取利息	300	378	△ 78	利息
(2) 雑収益	1,324,740	1,309,162	15,578	
経常収益計	67,595,890	66,050,869	1,545,021	
(ii) 経常費用				
給料手当	19,900,000	18,526,150	1,373,850	職員給与手当等
退職給付費用	490,500	490,500	0	職員退職金積立
福利厚生費	3,141,377	2,863,344	278,033	社会保険料等
旅費交通費	2,953,780	612,044	2,341,736	通勤交通費、出張旅費等
通信運搬費	5,640,745	5,451,595	189,150	切手、葉書、運送料等
減価償却費	1,735,188	1,810,732	△ 75,544	
消耗什器備品費	1,878,830	2,720,126	△ 841,296	
消耗品費	1,866,180	2,663,839	△ 797,659	事務用品等
修繕費	300,000	461,970	△ 161,970	
印刷製本費	7,166,426	7,215,370	△ 48,944	機関誌印刷費等
光熱水料費	850,000	685,670	164,330	電気、水道代
賃借料	101,440	40,690	60,750	
事務所管理費	1,525,872	1,501,423	24,449	
会場費	286,100	250,890	35,210	会場費等
保険料	228,000	231,000	△ 3,000	
諸謝金	3,290,000	899,000	2,391,000	セミナー等講師料
租税公課	1,525,700	1,715,900	△ 190,200	
会議費	6,491,200	1,613,148	4,878,052	会議飲食代等
委託費	3,935,820	4,108,690	△ 172,870	
支払負担金	1,647,400	833,440	813,960	
支払寄付金	345,000	0	345,000	
渉外慶弔費	300,000	73,300	226,700	
表彰費	838,980	142,680	696,300	
支払手数料	861,400	957,682	△ 96,282	顧問料、各種振込手数料他
雑費	15,000	6,659	8,341	
経常費用計	67,314,938	55,875,842	11,439,096	
当期経常増減額	280,952	10,175,027		
ii. 経常外増減の部				
(i) 経常外収益				
経常外収益計				
	0	0		
(ii) 経常外費用				
法人税及び住民税	140,000	70,000	70,000	
経常外費用計	140,000	70,000	70,000	
当期経常外増減額	△ 140,000	△ 70,000	△ 70,000	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	140,952	10,105,027	△ 9,964,075	
一般正味財産期首残高	225,248,962	225,248,962		
一般正味財産期末残高	225,389,914	235,353,989		
II 正味財産期末残高	225,389,914	235,353,989	△ 9,964,075	

令和4年度

正味財産増減予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	令和4年度予算	令和3年度予算	増 減	備考
I. 一般正味財産増減の部				
i. 経常増減の部				
(i) 経常収益				
1. 特定資産運用益	8,754,050	8,874,050	△ 120,000	
(1) 特定資産受取利息	30,000	30,000	0	利息
(2) 特定資産受取賃借料	8,724,050	8,844,050	△ 120,000	会館テナント家賃等
2. 受取会費	37,358,500	37,433,500	△ 75,000	
(1) 正会員受取会費	35,908,500	36,133,500	△ 225,000	年会費
(2) 賛助会員受取会費	1,450,000	1,300,000	150,000	年会費
3. 事業収益	614,500	614,500	0	
(1) 研修会事業収益	304,500	304,500	0	研修会等負担金
(2) 募金収益	160,000	160,000	0	チャリティーゴルフ大会収益
(3) 広報事業収益	150,000	150,000	0	
4. 受取補助金	20,372,400	19,348,800	1,023,600	
(1) 都道府県補助金	1,830,200	1,730,200	100,000	
(2) 全法連助成金振替額	18,202,200	17,258,600	943,600	全法連による助成金
(3) 全法連補助金	340,000	360,000	△ 20,000	
5. 雑収益	1,325,040	1,325,040	0	
(1) 受取利息	300	300	0	利息
(2) 雑収益	1,324,740	1,324,740	0	
経常収益計	68,424,490	67,595,890	828,600	
(ii) 経常費用				
給料手当	19,000,000	19,900,000	△ 900,000	職員給与と手当等
退職給付費用	300,500	490,500	△ 190,000	職員退職金積立
福利厚生費	2,186,540	3,141,377	△ 954,837	社会保険料等
旅費交通費	2,901,340	2,953,780	△ 52,440	通勤交通費、出張旅費等
通信運搬費	5,646,360	5,640,745	5,615	切手、葉書、運送料等
減価償却費	1,749,207	1,735,188	14,019	
消耗什器備品費	1,764,422	1,878,830	△ 114,408	
消耗品費	2,120,223	1,866,180	254,043	事務用品等
修繕費	300,000	300,000	0	
印刷製本費	7,332,106	7,166,426	165,680	機関誌印刷費等
光熱水料費	850,000	850,000	0	電気、水道代
賃借料	124,440	101,440	23,000	
事務所管理費	1,525,872	1,525,872	0	
会場費	332,780	286,100	46,680	会場費等
保険料	228,000	228,000	0	
諸謝金	4,125,000	3,290,000	835,000	セミナー等講師料
租税公課	1,525,700	1,525,700	0	
会議費	6,816,700	6,491,200	325,500	会議飲食代等
委託費	3,935,820	3,935,820	0	
支払負担金	1,677,400	1,647,400	30,000	
支払寄付金	345,000	345,000	0	
渉外慶弔費	300,000	300,000	0	
表彰費	878,980	838,980	40,000	
支払手数料	921,000	861,400	59,600	顧問料、各種振込手数料他
雑費	15,000	15,000	0	
経常費用計	66,902,390	67,314,938	△ 412,548	
当期経常増減額	1,522,100	280,952	1,241,148	
ii. 経常外増減の部				
(i) 経常外収益				
経常外収益計				
0				
(ii) 経常外費用				
法人税及び住民税	140,000	140,000	0	
経常外費用計	140,000	140,000	0	
当期経常外増減額	△ 140,000	△ 140,000	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	1,382,100	140,952	1,241,148	
一般正味財産期首残高	211,698,952	211,558,000		
一般正味財産期末残高	213,081,052	211,698,952		
II 正味財産期末残高	213,081,052	211,698,952	1,382,100	

※令和4年度は重要な資金調達(借入れ)及び設備投資の予定はありません。